

MELT up 講演会

主催 暗号の社会的利用推進フォーラム

- 開催日時: 2013年5月20日(月) 午後3時~8時
- 会場: 中央大学後楽園キャンパス 3号館 10階 31008号室
- プログラム(敬称略)
 - 14:45 受付開始
 - 15:00-15:25 開会講演 MELT up とは MELT up については次ページ参照
辻井 重男 中央大学研究開発機構教授、
マルチメディア振興センター・放送セキュリティセンター理事長
 - 15:25-16:15 激変するスマートフォンの状況
松下 温 慶應義塾大学理工学部客員教授
 - 16:15-17:10 マイナンバーと電子行政
手塚 悟 東京工科大学コンピュータサイエンス学部教授
 - 17:10-18:00 休憩
 - 18:00-19:00 暗号の社会的利用を廻る国際情勢
神田 雅透 情報処理推進機構
 - 19:00-20:00 パネル討論 サイバー空間の拡大と自由・安心・プライバシー
コーディネーター 辻井重男
パネリスト 藤波恒一(総務省情報セキュリティ対策室課長補佐)
松下 温、手塚 悟、神田雅透

主催 暗号の社会的利用推進フォーラム

協賛(一部依頼中)

電子情報通信学会

電子情報通信学会 情報セキュリティ研究会 (ISEC)

日本セキュリティマネジメント学会

システム監査学会 (JSSA)

(一般財)マルチメディア振興センター(FMMC)

(一般財)放送セキュリティセンター(SARC)

(一般財)医療情報システム開発センター

(一般財)医療情報安全管理監査人協会

NPO デジタル・フォレンジック研究会(IDF)

NPO 情報セキュリティフォーラム(NPO-ISEF)

NPO 情報通信政策フォーラム電子行政研究会

MCPC モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

情報通信技術研究会(NESSY)

電子行政研究会

研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム (ISS スクエア)

EPGC(Electrical Professor's Golf Competition)

●参加費無料 会場の都合上事前にお申込みください。定員になりましたら締め切らせていただきます。

●参加申込方法・申込先 ご所属・役職・この講演会をお知りになった媒体名をご記入いただき、次のアドレスまでお申込みください。 k.dohgam@tamacc.chuo-u.ac.jp (辻井研究室秘書 堂上)

cc tsujii@tamacc.chuo-u.ac.jp (辻井)

【MELT とは】

Management /Market , Ethics, Law system, Technology の略です。

先日、TV で、「みのもんた」の番組を見ていましたら、日本から海外への原発の輸出に関する話題で、「日本は、原発の技術が駄目なのに、どうして輸出するのだ？」と問いかけていました。コメントータは、流石に分かっているようで、「いや、基本技術は優れているのですよ」と説明しいていましたが、ミノさんは、「分からんなあ」と言う顔付きでした。

金庫は極めて安全に作られているのに、鍵を金庫の上に載せておいたのでは、何もなりません。

私が専門にしている暗号の分野でも、似たようなことになり兼ねません。現代暗号は、極めて美しく精緻な数学的理論の上に構築されつつあります。例えば、1000ビットの内の1ビットでも解読されたら、その暗号は破られたこととしようという厳しい掟を科して、研究を進めています。しかし、同じメモリの中に、暗号文と鍵を入れ、その鍵の利用は、簡単なパスワードだけで使えるという状況では、暗号システムとしての安全性は高いとは言えません。鍵の管理が決め手になります。

安心・安全の向上には、管理、倫理、法制度、技術を強く連携・融合（melt up）することが不可欠です。

以上が、MELT up の公式的な意味ですが、その効果を挙げるには、異分野の専門家達の日頃からの交流・融合が大事です。

本フォーラムは、正式には「暗号の社会的利用フォーラム」ですが、話題は暗号に限らず、クラウドやビッグデータは勿論、アベノミックスの切り札、医療・介護や電子行政など社会的課題を広く採り上げていく予定です。

昨年11月、行政、IT 企業、法制界、医学界などを代表する方々に発起人を御願いして、「暗号の社会的利用フォーラム」の発足準備会を開催し、大いに盛り上がりました。その後、IT 企業やサービス業界のご支援を頂きながら、フォーラム開催の準備を進めてきました。

フォーラムは、一般向け講演会と暗号技術専門討論会に分けて進める予定です。一般向け講演会を、「MELT up の会」と呼ぶことにしました。

今回は、「MELT up の会」ですが、中央大学で使用できる講義室の定員の関係で、やや小規模な講演会となりましたことをお詫びいたします。お早めにお申し込み下さい。